

秋田きらり支援学校は肢体不自由者・病弱者である児童生徒に対する教育を主として行う特別支援学校です。

地域支援だより

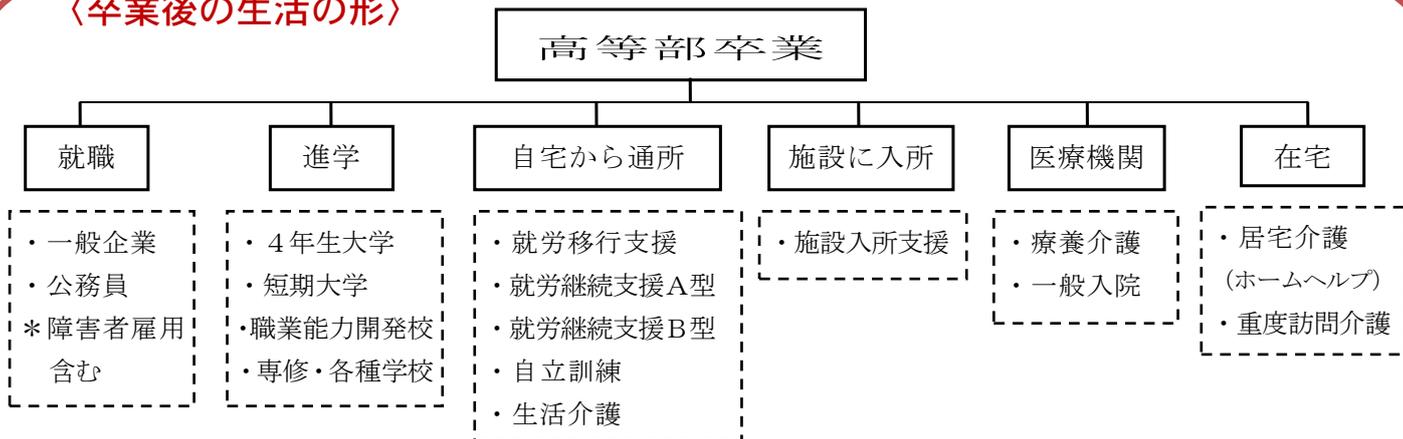
きらりNet

平成30年3月9日
第81号
秋田県立秋田きらり支援学校
地域支援部

本校高等部卒業後の進路と、進路決定に向けた主な取組を紹介します。

小学校、中学校の進路指導においても、子どもの将来の姿を思い描くことが指導の第一歩となるでしょう。どこで、どんな生活を送りたいのか…。ぜひ参考にしてください。

〈卒業後の生活の形〉



〈進路先と人数〉

卒業年度	就職	進学	通所	入所	医療機関	在宅 その他	合計
22～25	1	4	21	9	9	2	46
26	0	1	4	3	4	2	14
27	0	0	7	1	2	0	10
28	0	0	9	0	1	0	10
合計	1	5	41	13	16	4	80

〈就職に向けて〉

- ・職業講話 (ハローワーク)
- 進路講話 (卒業生)
- ・模擬面接 (外部講師活用)
- ・就職先と仕事に関すること等の情報共有 (スムーズに移行できるように)

〈進学に向けて〉

- ・学校見学
- ・オープンキャンパス
- ・模擬試験
- ・長期休業中の補習

〈障害福祉サービス利用に向けて〉

- ・事業所見学や現場実習 (希望先の絞り込みのため)
- ・作業学習 (働くことの意義理解、作業能力、態度の向上等を目指して)
- ・進路学習 (例: 「自分や友達のいいところ」「先輩にインタビュー」「休憩時間の過ごし方」等)
- ・現場実習評価票の活用 (課題の明確化と意識付け)

将来のイメージをもつことは大切です。それと同時に今できることとしては、自立した生活を目指して、身の回りのこと (着替え、食事、移動、整理整頓等々) をできるようにする等があると思います。そのためには、まわりの大人が必要以上に手出し口出しをしないことが大切に思います。

そして何よりも、社会に出た時のことを考えると、好感のもたれる心の豊かな人に育てていきたいものです。

〈文責：宮野佳代子〉

★ ちらりの実践 その⑨ 中学部 作業学習

合わせた指導を主とした学習グループ
(中学部 1～3年) の実践
キーワード：新たな製品開発

「自分に合った作業を考えること」や、「本校の作業と比べることで製品開発の意識をもつこと」などを主なねらいとし、視覚支援学校と聴覚支援学校の作業学習を見学に行きました。

<視覚支援学校 ～ ビーズアクセサリ作り>



材料として扱っていた、直径5mm程度のビーズに実際に触れました。手先を使う細かい作業に、「えー」と驚く生徒がたくさんいました。

生徒からの
質問

- ・製品の価格は？
- ・どれくらい売れていますか？
- ・どこで売っていますか？
- ・気を付けていることは何ですか？

<聴覚支援学校 ～ 油吸い取りパック作り>



本校と同じ作業製品を製作していたので、本校にない工程や道具の説明を聞いた後、積極的に質問していました。

生徒からの
質問

- ・完成までの時間は？
- ・袋詰めをするときのパルプの量は？
- ・綿状のパルプを作るために、ミキサーにかける時間は？

生徒たちからは、「ビーズは小さくて難しいな。」「聴覚支援学校のような小さな油吸い取りパックもあるといいのかな。でも詰めにくいかも。」「一緒に販売もしたい。」など、たくさんの感想が出ました。自分に合った作業を考え、よりよい製品を作りたいという意欲が高まるいいきっかけになりました。(文責：下村光行)

教育専門監のコーナー

心のしなやかさを育む授業づくり

「折れない心(レジリエンス)の4つの要素プラス1」

- ・状況に一喜一憂しない感情の安定
- ・自分を過小評価しない自尊感情
- ・成長前進していると感じる事ができる自己効力感
- ・失敗してもいつかできると考える楽観性
- ・ほかの人と一緒に生きる力、人間関係

(公式 WEB サイト

「クローズアップ現代+」“折れない心”の育て方より)

「授業づくりの五つのポイント」

- ・生活のリズムを整える環境づくり(学習習慣の形成)
- ・自分の良さに気付く評価場面の設定(自尊心の向上)
- ・社会の中で役割を担う活動の展開(地域とのかかわり)
- ・課題を受け止め行動する場面の設定(適応力の獲得)
- ・自分を信じて応援してくれる人との繋がり

(豊かな人間関係)

“自分で考える、自分で選択する、そして何よりも自分で決める”。生徒の主体性を大切にする中学部では、「作業を進める中で、生徒が自ら気づき、自分の担う役割を意識して、責任をもって行動すること」を目指し作業学習を進めています。このかがやきの丘各校の作業見学は、互いの学習を知り、新たな製品開発に向けて“自分がさらにできることは何か”を考える取組です。地域で作業製品を販売する生徒に求められるのは、確かな製品作り。自分達の製品がお客様に喜ばれ、感謝される経験は、学習へのやる気とやりがいをもたらす最大の原動力。「自分の仕事には、その仕事を待っている相手がいる」という、“相手意識と目的意識”に支えられた中学部の作業学習。自分の役割に自信と誇りをもち最後までやり遂げる学習の中で、生徒の心のしなやかさが育まれています。

(文責：二階堂 悟)

秋田きらり支援学校に相談・見学の希望がありましたら、下記まで御連絡ください。

教頭 伊藤 敏博 地域支援部 佐藤 忠浩

住所：〒010-1407 秋田市上北手百崎字諏訪ノ沢 3 番 127

E-mail：kirarisien@akita-pref.ed.jp

電話：018 (889) 8573 FAX：018 (889) 8575

「きらり Net」は本校ホームページから閲覧することができます。

<http://www.kagayaki.akita-pref.ed.jp/kirari/index.html>

